

2020年10月5日

## 九州から日本を動かす! Move Japan forward from 九州! (112)

ベトナム・ハノイでいよいよ11月上旬に九州PRセンターの開設が決まり、東京の大使館にご挨拶に伺いました。大使のお話ではハノイ、ホーチミンといった大都市は名前が通っているが、国の中央にあるダナン市が投資先として非常に魅力的ですとのことでした。空港もあるし、港は喫水の深い船も出入り出来るので貿易に向いていますよと。ここでは日本人学校もありますよと。

大使は設備業や製造業のベトナム進出を強く要望されていました。造船業はその一つでした。

そういえば、二年半ほど前に九経連でベトナムに視察に行った際、福岡から来ていた農家の若者がダナンで花卉(かき)栽培を検討したいという話をしていました。温かい土地での菊栽培は年間二度の収穫が出来るとか。日本国内の需要はさほど下がっていないが供給力が著しく低く、輸入に頼っている業界であることを知りました。その40歳代の若者の話ではこういうことでした。現在、両親が福岡で頑張っている。手が足りないので外国人の手を借りている。そこで自分がしばらくダナンの地で地元農家の人と一緒に生産し、日本への輸出するのだと。ダナンで経験を積んだ働き手は福岡にも出かけ、両親の仕事を手伝って貰うとのことでした。地元ダナンの農家の方も、輸出につながるということで非常に意欲的に協力する様子でした。その後このプロジェクトがどうなったか調べなくては、と思いつながらそのままになっています。

大使によると、ダナンでの日本語熱はかなりのようですし、驚いたことに日本での学生生活は安いと言われました。ベトナムから距離は近いのですが、豪州で学習する費用は日本の約4倍と聞きびっくりしました。欧米との比較ですが、「日本の留学費用は安いのが魅力だ」という表現を耳にして驚きました。

飯塚病院にも二人のベトナム人看護師がいます。二人とも明るく私は好きです。本国での看護師経験を十分踏まえた上で日本に来て、あの難しい日本語の国家試験を突破したのですから頭はよく、経験は豊富です。二人目の人は本国に子供を置いて国家試験への挑戦で相当なストレスが有ったと思いますが、頑張りました。そして、彼女たちは給料の相当額を本国に送金しているようです。

同世代の日本人看護師とはお金の大事さ、使い道が違うことでしょう。そして英語ができる人もいるので、語学の面でも同僚たちに大変良い刺激を与えてくれています。

麻生 泰